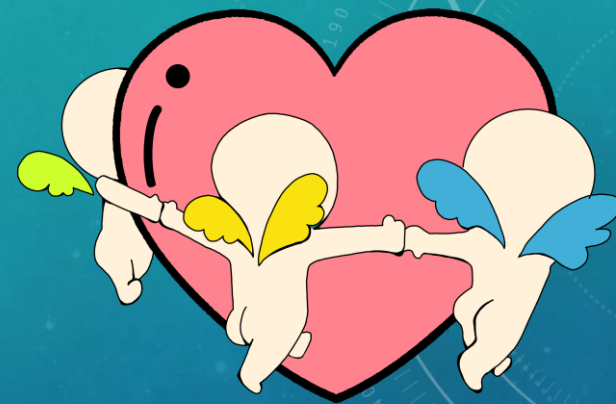


令和5年度 人権集中学習



HUMAN RIGHTS DAY
(世界人権デー)12/10



人権 → 様々な権利の集合体

生存権

職業選択の自由

信教の自由

奴隷的拘束からの自由

表現の自由

公平な裁判を受ける権利

教育を受ける権利

参政権・選挙権・被選挙権

拷問・残虐な刑を受けない自由

実際の世の中には人権が
守られているだろうか？



人権の光と影

人権を守る動きと侵害する動き

人権の歴史の「影」の部分

人類が繰り返してきたこと

・争いの繰り返し

→人権が守られない歴史



戦争の年表 (主なものだけ)

紀元前 [編集]

Category:紀元前の戦争 を参照

- 紀元前12世紀頃 トロイア戦争
- 紀元前770年 - 紀元前403年 春秋時代 - Category:春秋戦国の戦闘
- 紀元前492年 - 紀元前449年 ヘルシア戦争
- 紀元前431年 - 紀元前404年 ペロポネソス戦争
- 紀元前403年 - 紀元前221年 戦国時代 (中国)
- 紀元前395年 - 紀元前387年 コリントス戦争
- 紀元前343年 - 紀元前290年 サムニウム戦争
- 紀元前334年 - 紀元前323年 アレクサンドロス大王の東征
- 紀元前327年 - ディアドコイ戦争
- 紀元前264年 - 紀元前146年 ポエニ戦争 - Category:ポエニ戦争 - Category:第二次ポエニ戦争
 - 紀元前264年 - 紀元前241年 第一次ポエニ戦争
 - 紀元前218年 - 紀元前201年 第二次ポエニ戦争
 - 紀元前149年 - 紀元前146年 第三次ポエニ戦争
- 紀元前229年 - 紀元前219年 イリュリア戦争
- 紀元前215年 - 紀元前148年 マケドニア戦争
 - 紀元前215年 - 紀元前205年 第一次マケドニア戦争
 - 紀元前200年 - 紀元前196年 第二次マケドニア戦争
 - 紀元前171年 - 紀元前168年 第三次マケドニア戦争
 - 紀元前150年 - 紀元前148年 第四次マケドニア戦争
- 紀元前206年 - 紀元前202年 楚漢戦争
- 紀元前192年 - 紀元前188年 ローマ・シリア戦争
- 紀元前181年 - 紀元前179年 第一次ケルティベリア戦争
- 紀元前165年 - 紀元前142年 マカバイ戦争
- 紀元前153年 - 紀元前133年 ヌマンティア戦争 (第二次ケルティベリア戦争)
- 紀元前155年 - 紀元前140年 ルシタニア戦争
- 紀元前113年 - 紀元前101年 キンプリ・テウトニ戦争
- 紀元前111年 - 紀元前105年 ユグルタ戦争
- 紀元前91年 - 紀元前88年 同盟市戦争
- 紀元前88年 - 紀元前63年 ミトリダテス戦争
 - 紀元前88年 - 紀元前84年 第一次ミトリダテス戦争
 - 紀元前83年 - 紀元前81年 第二次ミトリダテス戦争
 - 紀元前74年 - 紀元前63年 第三次ミトリダテス戦争
- 紀元前73年 - 紀元前71年 スパルタクスの反乱
- 紀元前58年 - 407年
 - 紀元前58年 - 紀元前52年 ガリア戦争
- 紀元前49年 - 紀元前48年 内戦 (カエサルとポンペイ)
- 紀元前44年 - 紀元前42年 内戦 (カエサルとポンペイ)

紀元前

- 1803年~1815年 - ナポレオン戦争・Category:ナポレオン戦争・Category:19世紀
 - 1807年~1814年 - スペイン独立戦争
- 1804年~1813年 - 第一次イラン・ロシア戦争
- 1808年~1809年 - 第二次ロシア・スウェーデン戦争
- 1809年~1825年 - ボルビア独立戦争
- 1810年~1821年 - メキシコ独立戦争
- 1812年~1814年 - 米英戦争 (1812年戦争)
- 1814年~1816年 - グルカ戦争 (ネパール戦争)
- 1815年 - 第二次バーバリ戦争
- 1820年~1823年 - スペイン内戦 (1820年-1823年) (スペイン立憲革命)
- 1821年~1829年 - ギリシャ独立戦争
- 1824年~1826年 - 第一次英緬戦争 (ビルマ戦争)
- 1825年 - ジャフ戦争
- 1825年~1828年 - シスプラティーナ戦争
- 1826年~1828年 - 第二次イラン・ロシア戦争
- 1836年~1839年 - ヘルーン・ボルビア戦争 (英語版)
- 1838年~1842年 - 第一次アフガン戦争
- 1839年~1851年 - 大戦争
- 1840年~1842年 - 阿片戦争 (アヘン戦争)
- 1843年~1852年 - シク戦争 (第一次・第二次)
- 1846年~1848年 - 米墨戦争
- 1848年~1850年 - 第一次シュレースヴィヒ=ホルシュタイン戦争
- 1850年~1865年 - 太平天国の乱
- 1852年~1853年 - 第二次英緬戦争
- 1853年~1856年 - クリミア戦争
- 1856年~1860年 - アロー戦争 (第二次阿片戦争)
- 1857年~1858年 - インド大反乱 (第一次インド独立戦争)
- 1858年~1861年 - イタリア統一運動 (リソルジメント)・Category:イタリア統一運動
- 1859年~1863年 - 運邦戦争 (英語版)
- 1861年~1865年 - 南北戦争・Category:南北戦争・Category:南北戦争の内戦
- 1863年 - 薩英戦争
- 1863年~1864年 - 下関戦争
- 1864年 - 第二次シュレースヴィヒ=ホルシュタイン戦争
- 1864年~1870年 - 三国同盟戦争 (パラグアイ戦争)
- 1866年 - 普墾戦争
- 1868年~1878年 - 第一次キューバ(独立戦争 (十年戦争))
- 1870年~1871年 - 普仏戦争
- 1877年~1878年 - 露土戦争
- 1878年~1881年 - 第二次アフガン戦争
- 1879年 - スールー戦争
- 1879年~1884年 - 太平洋戦争 (硝石戦争)
- 1880年~1881年 - 第一次ボーア戦争
- 1880年~1899年 - マフデー戦争
- 1884年~1885年 - 清仏戦争
- 1885年~1886年 - 第三次英緬戦争
- 1889年~1896年 - 第一次エチオピア戦争
- 1894年 - 甲午農民戦争
- 1894年~1895年 - 日清戦争・Category:日清戦争
- 1895年~1898年 - 第二次キューバ(独立戦争 (キューバ(独立戦争)))
- 1896年 - イギリス・ザンジバル戦争
- 1897年 - 希土戦争 (1897年)

19世紀

義和団事件)

20世紀

2001年~現在 [編集]

Category:21世紀の戦争 を参照

- 2001年 - 2001年バングラデシュ・インド国境紛争 (英語版)
- 2001年~2021年 - アメリカのアフガニスタン侵攻 (対テロ戦争)
- 2001年~(継続) - パキスタン紛争
- 2003年~2011年 - イラク戦争・Category:イラク戦争
- 2003年~(継続) - ダルフール紛争
- 2004年~(継続) - サリン紛争
- 2004年~(継続) - タイ紛争
- 2004年~(継続) - ワジリスタン紛争
- 2006年 - 東ティモール内乱
- 2006年 - イスラエルのガザ侵攻・レバノン侵攻
- 2006年 - エチオピアのソマリア侵攻
- 2006年~2009年 - スリランカ内戦
- 2008年 - 第二次南オセチア紛争 (グルジア紛争)
- 2008年~2009年 - イスラエルのガザ紛争
- 2011年 - シナイ紛争 (英語)
- 2011年 - リビア内戦
- 2011年~(継続) - シリア内戦
- 2012年~(継続) - マリ北部紛争
- 2012年~(継続) - 中央アフリカ共和国内戦
- 2013年 - スールー王国軍によるラハダトゥ侵攻
- 2014年 - イスラエルのガザ侵攻
- 2014年~(継続) - ウクライナ紛争
- 2014年~2020年 - 2014年リビア内戦
- 2015年~(継続) - イエメン内戦
- 2016年 - 2016年ナゴルノ・カラバフ紛争 (英語版)
- 2017年 - マラウィの戦い
- 2020年~(継続)2020-2021ミャンマー反乱 (英語版)
- 2020年 - 2020年ナゴルノ・カラバフ紛争
- 2021年~(継続) - バンジシール紛争
- 2022年~(継続) - 2022年ロシアのウクライナ侵攻
- 2023年 - 2023年ロシアのウクライナ侵攻
- 2023年~(継続) - イスラエル戦争

21世紀

人権の歴史の「影」の部分

- 生存権の無視・軽視
(戦争、集団虐殺等)
- 差別の横行
(植民地化、奴隷制等)



20世紀

- 世界を巻き込んだ二度の大戦
- 特定の人種の迫害
- 大量虐殺 など



人権を侵害する出来事が多発



「こんな世の中でいいんだらうか？」
「もっと『一人一人』を大切にしないで
いいんだらうか？」と、

改めて
多くの人考えた



1948年の国際連合の総会で 「世界人権宣言」を採択

※全部で30条

※その後、宣言の内容が「法律」や「条約」に
(宣言するだけでは法的拘束力がないから)



人権の歴史の「光」の部分

■紀元前539年:キュロス大王

- ・奴隷全員解放・自分の信仰する宗教を自分で選んでよい

■1215年:大憲章(マグナ・カルタ) ※イギリス

- ・人々に新しい権利を与え、王も法に従わなくてはならないとした

■1628年:権利請願 ※イギリス

- ・国民が持つ権利を定めた

■1776年:アメリカ独立宣言

- ・生命、自由、そして幸福の追求に対する権利を宣言した

■1789年:人間と市民の権利の宣言 ※フランス人権宣言

- ・フランスで、すべての市民は法の下に平等であると宣言した

■1948年:世界人権宣言

- ・すべての人に与えられた30の権利を述べた最初の文書

日本国憲法（最高法規）

国民の権利や自由を守るために
国がやってはいけないこと、やる
べきことについて定めた決まり

人権に関する内容がたくさん
書かれている

21世紀は人権の世紀

「同じ過ちを繰り返さないように」
という決意を込めて
「人権の世紀」と呼ぶ

こんなに根本的で重要な問題
はないから

人権の歴史の「光」の部分

- 世界人権宣言
- 青少年赤十字
- 国境なき医師団
- NGO・NPO組織 等



人権の歴史の「光」の部分

- ガンジー（非暴力抵抗）
- キング牧師（公民権運動）
- ネルソン・マンデラ
（反アパルトヘイト）

自分の人生を賭けて、人々の人権を守ろうとした人も

現状は・・・

世界的に大きく報道されているものだけを見ても

■2022年2月24日
ロシアがウクライナを侵攻

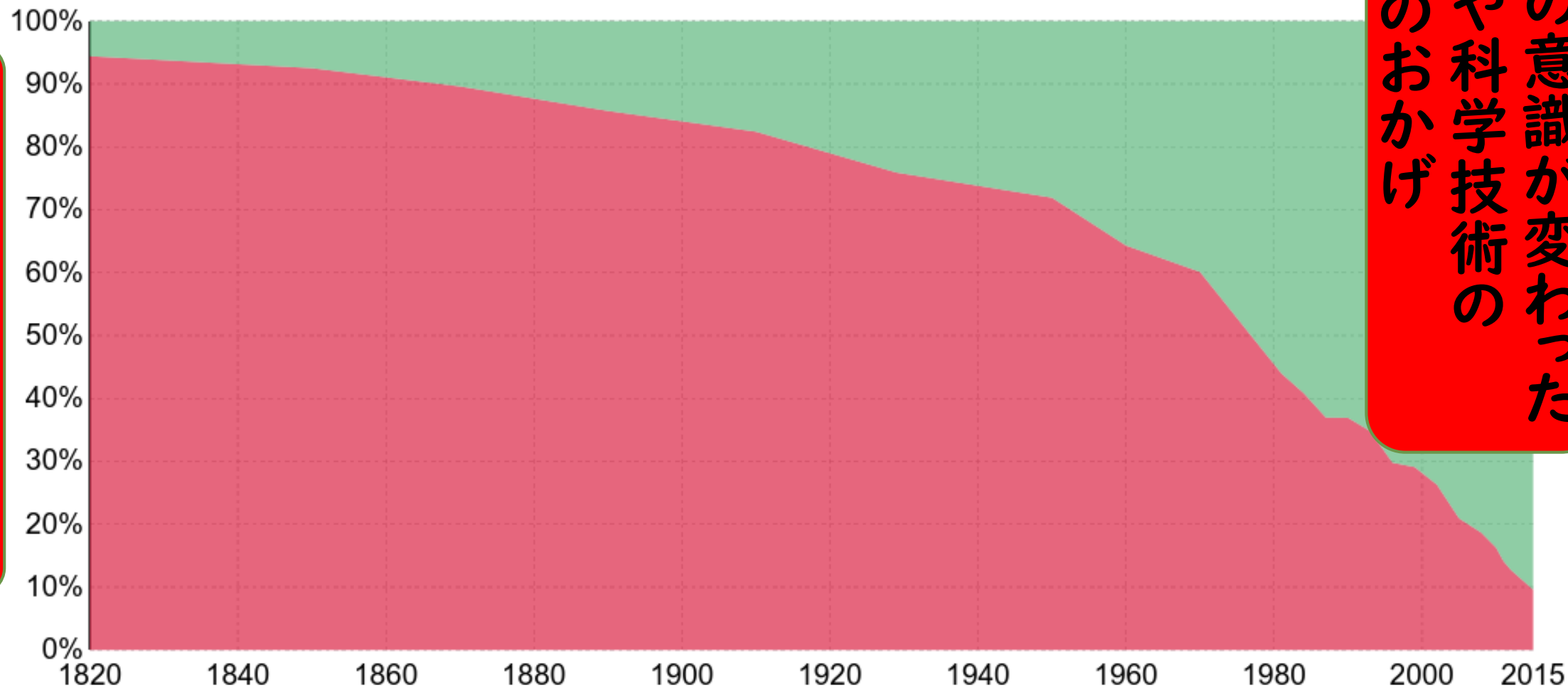
■2023年10月7日
ハマスがイスラエルを攻撃



絶対的貧困に暮らす世界の人口、1820年から2015年

絶対的貧困に暮らす人々の割合

絶対的貧困でない人々の割合



「貧困をなくそう」
SDGの目標の1

人々の意識が変わった
ことや科学技術の
発展のおかげ

それでも、格差が埋まらない現実も・・・



富の再配分は行われているけれど・・・

- 弱者ばかりが辛い目に遭う世の中でいいのか？
- 悪貨は良貨を駆逐するような世の中でいいのか？



人権の状況

人権という発想自体がなかった時代

人権尊重

人権侵害

守られるようになってきたが、まだまだ道半ば

もっと身近なところに目を向けてみると
～人権課題の例～

虐待

いじめ

女性

障がい者

高齢者

インターネット・SNS

拉致

同和

LGBTQ

人種

HIV感染者

ハンセン病

問われていることは何か？
自分にできることは何か？



<人権集中学習の目的>

人権を尊重する気持ちと
実践力を高める

自分事として考え、言葉にすることで、
自分の人権意識を見つめ直す

<8つの質問>

どれか一つを選んで答えてください

①話を聞き終わった後、
思ったことや考えたことは
どんなことですか？

② 世界人権宣言が**つくられた背景や、書かれている30項目の内容を見て、主体的に人権に関わる課題を解決するために、どのような自分でありたい**と思いますか？



③ 今のあなたは、どれだけ人権のことを自分事として感じますか？

例えば、身近にあるいじめや差別、様々な人権課題に対して、どんな気持ちで向き合っていますか？

そして、自分の「人権意識」に課題があるとしたら、これからどう行動を変えていこうと思いますか？

④誰もが「自由に」「平等に」「幸福に」「健康に」「平和に」生きていける世の中をつくるのは簡単ではありません。

けれど、そんな世の中の実現に少しでも近づけていくために、自分や社会がすべきことがあるとすればどんな方法を使うのがいいと思いますか？



⑤おそらく誰もが「人権は大切」とわかっている
でも、それと反する言動をとってしまうことがあります。

人間の、そんな弱さ・ずるさ・欲・自己中心性
といった現実があることを踏まえた上で、あなた
は、人の権利を守るために何を願い、どんな
行動をとりますか？



⑥金子みすゞの「大漁」という詩では、「『まつり』のように喜んでいる人」がいる一方で、海の中では「弔い（とむらい）」が行われていることが表現されています。

金子みすゞは、何を言いたかったのでしょうか？ または、この詩を読んでどんなことを感じますか？

大漁

金子みすゞ

朝焼け小焼だ、大漁だ
大羽鰩（おおばいわし）
の大漁だ

浜は祭りのようだけど
海のなかでは何万の
鰩（いわし）のとむらい
するだろう

⑦「世界がぜんたい幸福にならなければ個人の幸福はあり得ない」

この言葉を通して宮沢賢治は何を言いたかったのでしょうか？

⑧あなたは、自分自身や自分にとって本当に大切な人が、誰かからひどい人権侵害を受けたとしたらどうしますか？

また、解決するために、あるいは少しでもいい方向に向かわせるためにどう振る舞いますか？

寄り道：機会があれば読んでほしい本

- 「おおきな木」
シエル・シルヴァスタイン
- 「荒野の七ひき」
手塚治虫
- 「サピエンス全史」
ユヴァル・ノア・ハラリ

「与える」ということの意味を考えさせられる話

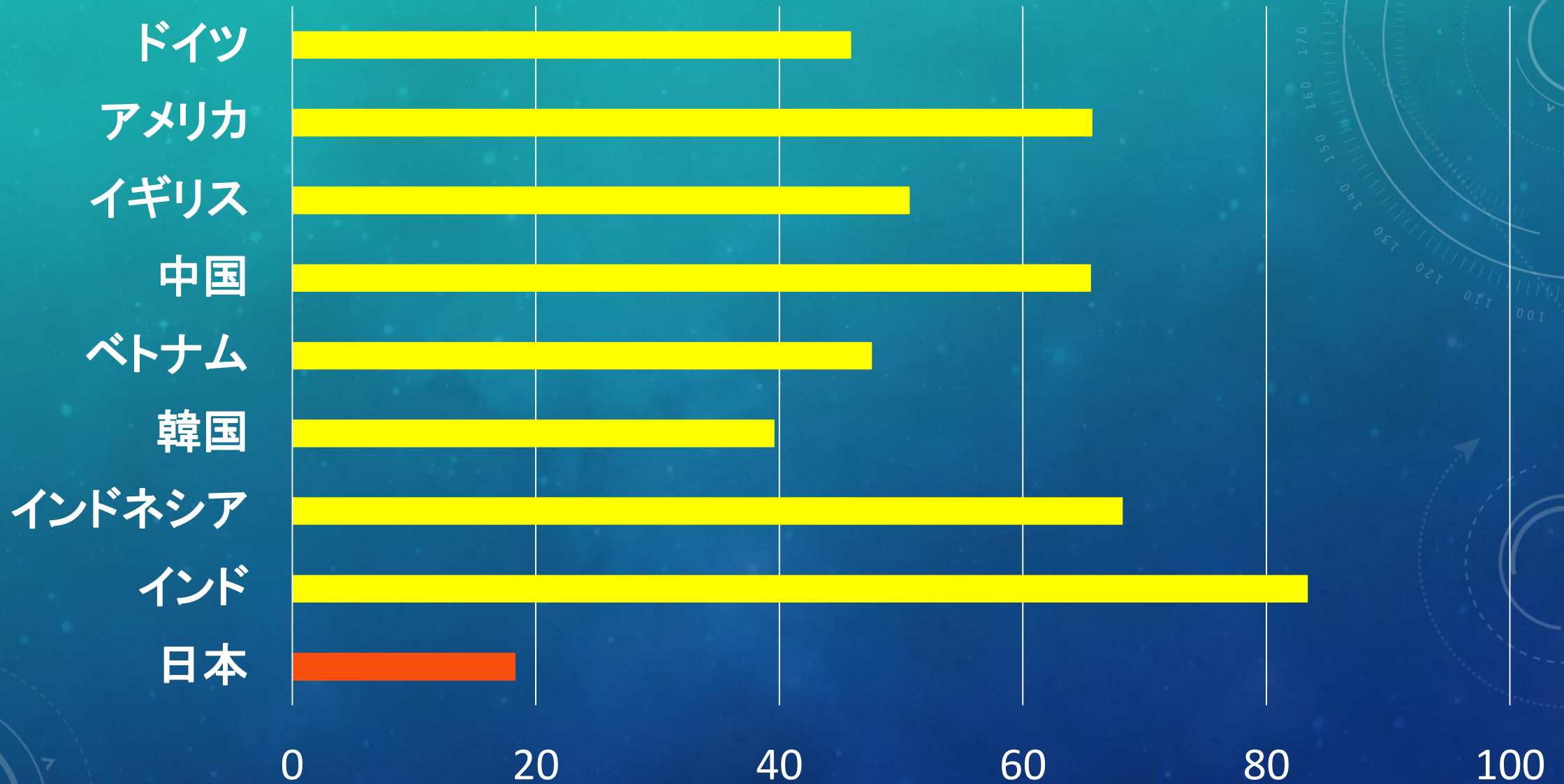
「人類至上主義」について考えさせられる話（人間ほど他の生き物の権利を奪っている者はいない。「多様性」とか言いながら）

ガンジーやキング牧師だけでなく、金子みすずや宮沢賢治、シルヴァスタイン、手塚治虫といった人たちも、どうしたら一人一人が幸福になれるかを深く考えた、とても心根の綺麗な人だと感じます。

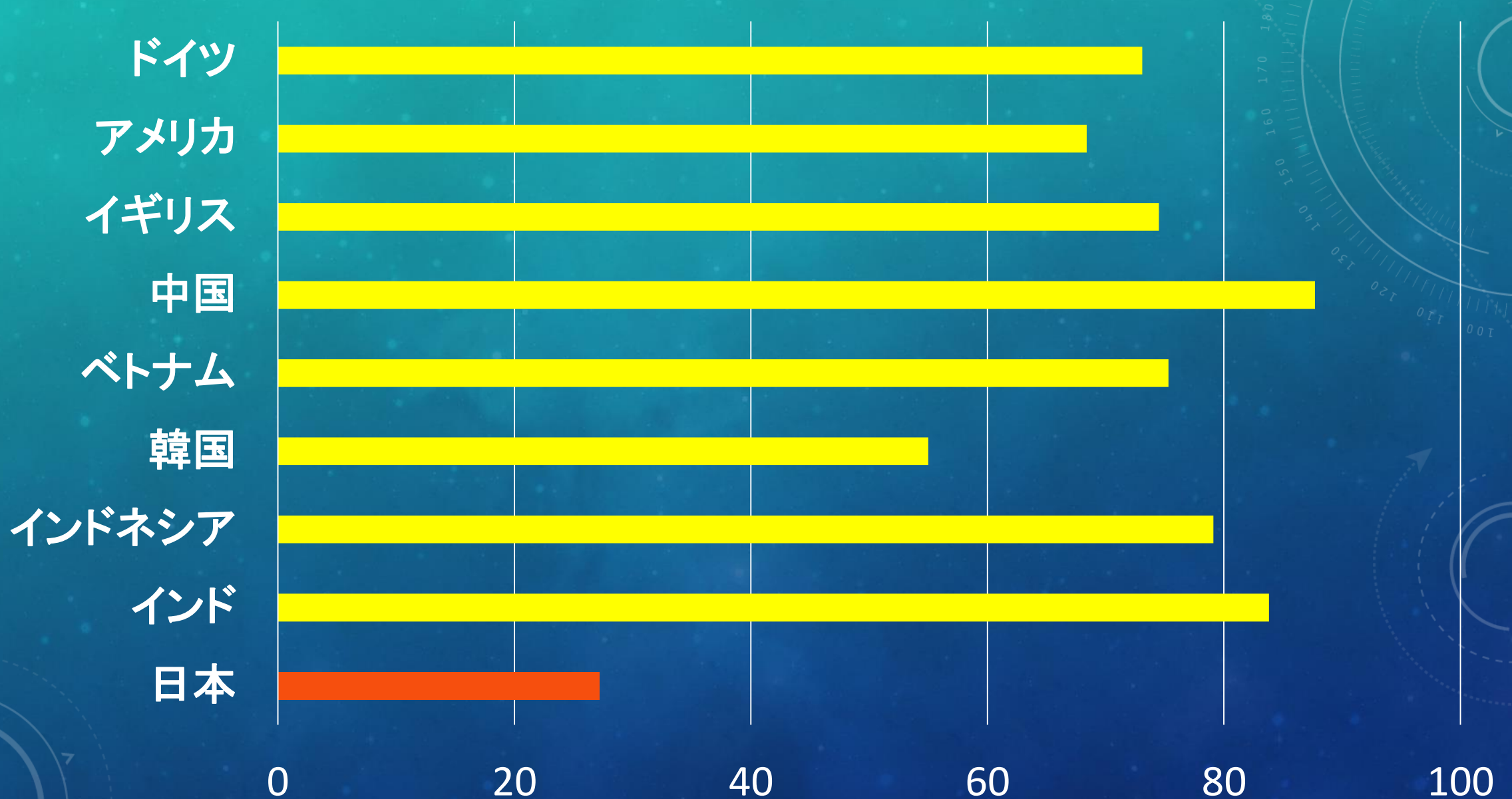
上品

下品

自分で国や社会を変えられると思う



社会議題について周りの人と積極的に議論している





誰が人権を守られた
社会をつくる？

口を開けて待っていても
自動的に人権が守られる
社会ができるわけではない

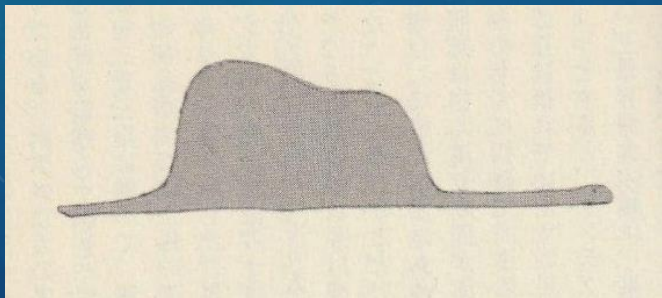
一人一人の
「当事者意識」
が重要

世の中には「人権について学ぶ機会」
すらない人がいることも忘れないよう
にしながら



■この機会に、重要な問題である
人権について全員が深く考える。

■日常の中でできることを見付け、
自分で自分をよい方向に導く。



自律